



水素社会の実現性を検証する日本初の実証事業

富谷市では、環境省「地域連携・低炭素水素技術実証事業」富谷市における低炭素水素サプライチェーンの構築に向けた実証事業を開始しました。

この実証事業は、株式会社日立製作所、丸紅株式会社、みやぎ生活協同組合と共同で申請し、採択されたもので、水素の製造から配送、そしてエネルギーとしての活用までを市内で一貫して行います。

昨年度は、水素社会実現に向けた啓発活動として、市職員対象の勉強会や市民向けのセミナーを開催し、水素エネルギーへの理解を深めました。

そして今回、実証に関する設備が完成したことから実証事業の運用を開始したものです。水素エネルギー

は、みやぎ生協明石台店、日吉台小学校児童クラブ棟、市内の3家庭で利活用します。

環境省の実証事業としては、全国で6例目、東北では初めての採択となります。大きな特徴は、水素を吸着させた合金を用いることで、安全な運搬が可能となったことと、みやぎ生協の持つ地域密着型の物流網を活用することで、一般家庭をはじめ水素利活用の可能性が大きく広がることです。このような実証事業は、ほかに例がなく、日本初とも言えます。

将来的には、この実証事業が日本における水素エネルギーの一般利用に向けて、重要な役割を果たすことは間違いありません。富谷市として

も日本、そして世界の第一線で活躍している企業とともに、将来のエネルギー利活用に携わることは、今後のまちづくりに大きな意義を持つことになります。CO₂を排出しない未来都市を目指して、富谷市ではこの取り組みを全国へ発信してまいります。

問 企画政策課

☎358-0517



まつばら まこと
企画政策課 松原 誠